

# 「ふり奨学金」が優秀賞

## ふるさとチョイスアワード

ふるさと納税制度を活用して地域活性化につなげた自治体を表彰する「ふるさとチョイスアワード2018」が11月21日、東京都港区スパイラルホールで開催され、本町が優秀賞に選ばれました。

ふるさと納税の大手仲介サイトを運営する株式会社トラストバンクが主催する本審査会は、今回で5回目で5人の審査員と200人の来場者の投票で審査されました。

エントリーした54自治体のうち、事前審査を通過した8自治体が今回登壇しました。

本町は、土井隆地方創生統括監がふるさと納税の寄附を原資にした「ふり奨学金」の制度とその効果について説明しました。

金融機関と連携し、高校生や大学生が卒業後に町に定住すれば返済を免除するこの制度で、これまで100人以上が利用し、5人が町内に戻ってきた実績などが評価されました。

土井地方創生統括監は「ふるさと納税を活用し、町全体で子どもを支えている。持続可能な制度にしたい」と話しました。



↑ 登壇した土井地方創生統括監

## 郷土への思い出話に花が咲く

### 第12回関東ながしま会総会

関東在住の本町出身者でつくる関東ながしま会（門元茂会長）の第12回総会・懇親会が東京都台東区の上野精養軒で開催されました。

この日は会員175人と川添町長を始めとする来賓28人が参加し、総会では川添町長の本町近況報告などに参加者は熱心に耳を傾けていました。

懇親会が始まると、ふるさとの食材を使った料理と焼酎を酌み交わし、郷土への想いを語り合うなど話に花を咲かせ、長島弁と笑い声が響き渡る楽しい時間が流れました。

本町出身でプロの歌手、流星＊BREATH（りゅうせいとぶれす）さん（火ノ浦出身）とき

たむらたかしさん（薄井出身）による歌の披露もあり、大いに盛り上がりました。

今回初の試みで、各中学校出身者ごとに分かれ、校歌の合唱が行われました。年代は違えど、力強い歌声で参加者同士の絆を深めました。

最後に「ふるさと」を全員で歌い、ふるさと長島を想い友人・知人と再会し、話し合える機会として、来年も元気でお互いに会えることを期待して閉会となりました。



↑ 次回も元気で会うことを誓い合った参加者